

# ビギナーによるビギナー向けの 真珠みがき ~基礎の基礎~

Kansai.pm 第2回セミナー  
2000年5月20日  
舟木 隆康 funaki@i.am

## この時間の流れ

- いきなりソースを見て
- 結果を見てもらい
- 解説を行う
- 補足はあんまり詳しくしません (^\_^;
  
- 判らない点は随時質問OK!
- それどころか、私が判らないところは他の人に解説して頂こうかな... (^\_^;

## この時間では

- スカラー変数とは
- スカラー変数に関する疑問
- **SPRINTFとPRINTF**
- 配列とは
- その他の配列操作法
- **PUSHとPOP**
- **SHIFTとUNSHIFT**
- 配列の中身すべてに何か行う
- **FOREACH**

## スカラー変数とは

```
my $name = "Funaki";  
my $age = 23;  
my $weight = 64.8;  
  
print "Mr. $name is $age years old and weighs $weight.¥n";
```

### 結果

```
Mr. Funaki is 23 years old and weighs 64.8.
```

## スカラー変数とは

- \$が先頭につく任意の名を持つ箱
- 文字、単語、文章、整数、小数点の値なら何でも入る箱(変数)である
  - シングルクォーテーション(')又はダブルクォーテーション(")で囲まれていると文字列として代入する
  - 数値は「」に囲まず、そのまま代入する
    - 囲んでも別に良いけどね... (^\_^;

## 補足 (myについて)

- myってどんな意味？
  - myはスカラー変数や配列などを使う前に「今いるブロック内でのみ私は存在します」という宣言
  - サブルーチンを作ったときに、同じ名前のスカラー変数があるとバッティングしてしまい、想定しないエラーが出る可能性があるので宣言しとくと良い
  - サブルーチンが無い場合要らない (^\_^;
    - つまりmy無しでいきなり「\$hoge = 1;」としてもOK!

## 補足 (printについて)

### ● printって何？

- printは出力する為の命令(関数)
- 「"」か「'」で囲まれた文字列を出力
  - 「'」で囲まれていると「¥と'」以外の文字は全部まんま出力される
  - 「"」で囲まれている場合、いくつかの記号が特別な意味を持つ
- 「"」に囲まれている中の「¥n」という記号は「改行しろ」の意味を持っている

## スカラー変数に関する疑問

```
my $hoge = 5/3;
print "3人で割り勘すると値段は$hogeドルです¥n";

my $pai = 3.141592653589793238462643383279;
print "学校ではπを$paiで計算せよと教えられましたが、最近では$paiにしよう、¥nという話が持ち上がっているようです。それでいーのか？ (^;¥n";
```

### 結果

```
3人で割り勘すると値段は1.66666666666667ドルです
学校ではπを3.14159265358979で計算せよと教えられましたが、最近では
3.1415926535899にしよう、
という話が持ち上がっているようです。それでいーのか？ (^;
```

### ● あらら...？ こういう時はどうすればいいの？

# スカラー変数に関する疑問

```
my $hoge = 5/3;

$hoge = sprintf ("%4.2f", $hoge);
print "3人で割り勘すると値段は$hogeドルです¥n";

my $pai = 3.141592653589793238462643383279;
printf ("学校ではπを%4.2fで計算せよと教えられましたが、最近では%dにしよう、¥nという話が持ち上がっているようです。それでいいのか？ (^;¥n", $pai, $pai);
```

## 結果

```
3人で割り勘すると値段は1.67ドルです
学校ではπを3.14で計算せよと教えられましたが、最近では3にしよう、
という話が持ち上がっているようです。それでいいのか？ (^;
```

これで解決！

# SPRINTFとPRINTF

## ● sprintf

- スカラー変数の桁を切ったりする(フォーマット)したいときに使える関数
- もちろんそれを受ける為のスカラー変数が必要

## ● printf

- スカラー変数を出力するときにフォーマットしたいときに使う
- 元のスカラー変数に影響は無い

## 配列とは

```
my @lang = ("java", "pascal", "fortran", "perl", "c", "cobol", "basic");  
  
#めんどいなら  
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);  
  
print $lang[3] . "\n";
```

### 結果

```
perl
```

## 配列とは

- 配列はこのように代入する事もできる

```
my @hoge;  
  
$hoge[0] = "java";  
$hoge[1] = "pascal";  
$hoge[2] = "fortran";  
$hoge[3] = "perl";  
...  
$hoge[6] = "basic";
```

– やっている事は同じ

## 配列とは

- @が先頭につく任意の名を持つ
- スカラー値をたくさん入れられる
- qwを使うと「"」と「,」が不要で楽
- 呼び出すときは \$hoge[数字]

## 補足 (printについて2)

- **print** 命令文の中でピリオド(.)を使うと、文字列をくっつける事ができる

```
print "Hello " . "world!";  
print "Hello world!";
```

は同じ。

最初の"Hello "の後にスペースを入れるのを忘れないように

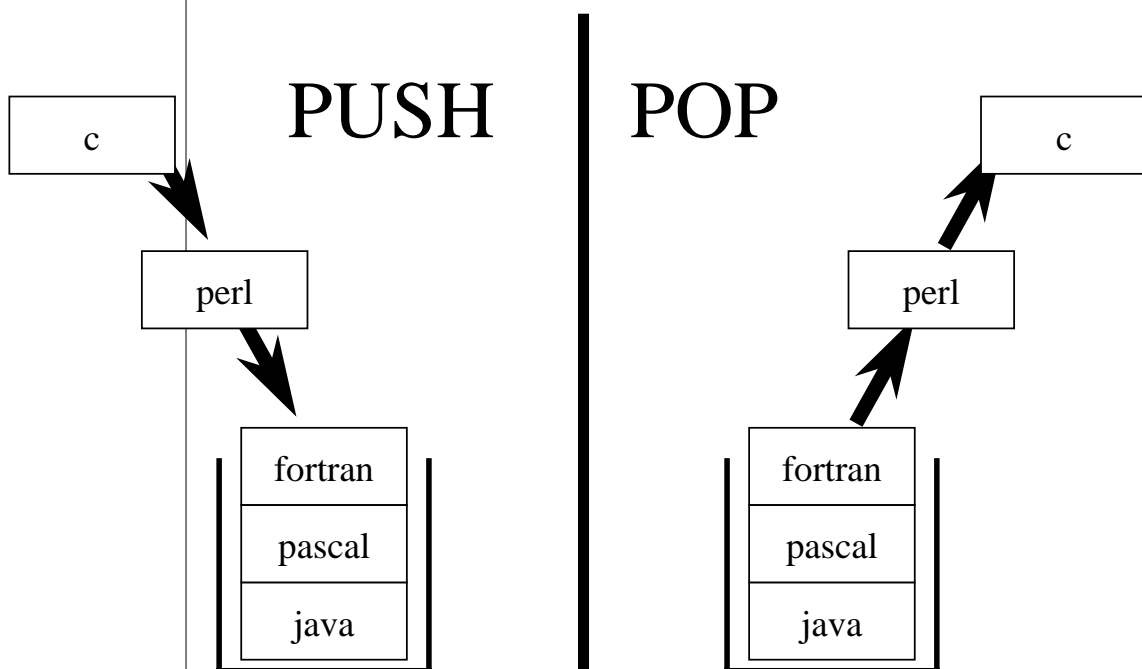
## その他の配列操作法

```
my @lang;  
  
push (@lang, "java");  
push (@lang, "pascal");  
push (@lang, "fortran");  
push (@lang, "perl");  
...  
push (@lang, "basic");  
  
print $lang[3] . "¥n";
```

### 結果

```
perl #やっている事は前回の例と同じ
```

## PUSHとPOP





## その他の配列操作法

```
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);  
  
print pop (@lang) . "\n"; #basicが飛び出してゆく  
print pop (@lang) . "\n"; #cobolが飛び出してゆく  
print pop (@lang) . "\n"; #cが...  
print pop (@lang) . "\n";
```

### 結果

```
basic  
cobol  
c  
perl
```

## その他の配列操作法

- 「push」と「pop」
  - 配列の最後に対して使われる
  - 配列をスタック(LIFO)として使える
    - pushすると最後尾に新たに追加
    - popすると最後尾から抜き出す
      - popすると抜き出された要素はなくなる

## その他の配列操作法

```
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);
```

```
print shift (@lang) . "\n";  
print shift (@lang) . "\n";  
print shift (@lang) . "\n";  
print shift (@lang) . "\n";
```

### 結果

```
java  
pascal  
fortran  
perl
```

## その他の配列操作法

```
my @lang;  
  
unshift (@lang, "1java");      #判りやすさの為に  
unshift (@lang, "2pascal");    #先頭に番号を振っ  
unshift (@lang, "3fortran");   #てみました。  
unshift (@lang, "4perl");  
unshift (@lang, "5c");  
unshift (@lang, "6cobol");  
unshift (@lang, "7basic");  
  
print "@lang";
```

### 結果

```
7basic 6cobol 5c 4perl 3fortran 2pascal 1java
```

# SHIFTとUNSHIFT

SHIFT

UNSHIFT



java



1java

2pascal

3fortran

4perl

5c

## その他の配列操作法

### ● 「shift」と「unshift」

- 配列の先頭に対して使われる
- shiftすると先頭から抜き出す
  - shiftすると抜き出された変数はなくなる
- unshiftすると先頭に新たに追加
  - 追加する毎に古いのは後ろに行く
- 配列をFIFOとして使える

# 配列の中身すべてに何か行う

```
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);  
  
foreach $i (@lang){  
    print $i . "\n";  
}
```

## 結果

```
java  
pascal  
fortran  
perl  
c  
cobol  
basic
```

# FOREACH

@lang = 

java	pascal	fortran	perl	.....	cobol
------	--------	---------	------	-------	-------

  
この配列に入っている項目一つ一つに何らかの処理を行いたい

foreach \$i (@lang)すると...

foreach 

java
------

 ( 

pascal	fortran	perl	.....	cobol
--------	---------	------	-------	-------

 )  
{ 処理を 

java
------

 に対して色々行う; }

foreach 

pascal
--------

 ( 

fortran	perl	.....	cobol
---------	------	-------	-------

 )  
{ 処理を 

pascal
--------

 に対して色々行う; }

# FOREACH

foreach fortran ( perl ..... cobol )

{ 処理を fortran に対して色々行う; }

foreach perl ( ..... cobol )

{ 処理を perl に対して色々行う; }

⋮

foreach cobol ( )

{ 処理を cobol に対して色々行う; }

↓  
リストが空なので、終了

## 配列の中身すべてに何か行う

- 配列やリストの中身すべてを処理するには  
foreach文が便利
  - 配列に対するめんどろな処理を*\$i*という変数に一旦入れ、その*\$i*に処理を行う
  - ブロック(「{」と「}」に挟まれている部分)の処理が終われば、最初に戻って、配列に入っている次の値を処理する
  - 元の配列の要素は*\$i*に変更される

# FOREACH

```
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);

foreach $i (@lang){
  $i = uc($i);          # uc は小文字を大文字にする命令
  print $i . "\n";
}
```

## 結果

```
JAVA
PASCAL
FORTRAN
PERL
C
COBOL
BASIC
```

# Perlのいいトコ

- デフォルトが決まっている
  - スカラー変数\$<sub>1</sub>;
  - 配列@<sub>1</sub>;

```
print;
print $1;          #上と同じ

foreach (@lang) { }
foreach $1 (@lang) { }      #上と同じ

uc;
uc $1;          #やっぱり上と同じ
```

# Perlのいいトコ

```
@lang = qw(java pascal fortran perl c cobol basic);

foreach (@lang){          # foreach $_ (@lang) と同じ
  print uc . "¥n";       # print uc($_) . "¥n"; と同じ
}
```

## 結果

```
JAVA
PASCAL
FORTRAN
PERL
C
COBOL
BASIC
```

# 参考

- 文献
  - プログラミングPerl改訂版、オライリージャパン
  - 初めてのPerl第2版、オライリージャパン
  - Perl5パワフルテクニック大全集、インプレス

- ご意見やご質問があればどうぞ

ご静聴ありがとうございました

Kansai.pm第2回セミナー  
ビギナーによるビギナー向けの  
真珠みがき ~基礎の基礎~